

38. イノベーションセンターの活動

〔設立の経緯〕

第2世紀将来構想答申により、支部・部門制検討委員会で支部と部門制および研究開発センター構想について具体化のための検討が行われた。2002年度末までにセンター設置が提案され、2003年度より研究開発推進センターが発足したが、2006年度より産官学連携センターに改組された。更に2008年度（第86期）の政策・財務審議会において、センターを構成する委員会が増大・細分化され、お互いのシナジー発揮への弊害や維持体制の肥大化といった課題を招き、事業収支にも少なからず影響を与えていたとの指摘があり、若年世代の減少や団塊世代の退職による会員減に対する施策として、若手会員やシニア年代に達した会員への学会サービス機能の強化など、機構・センターが連携して取り組むべき課題も多かったことから「能力開発促進機構と産官学連携センター事業の見直し」が議論され、両組織の発展的改組による新体制として2009年4月から「イノベーションセンター」を設置することが答申された。本センターは、人材や科学技術に関する世の中の動向に俊敏に対応することによって学会の存在感をより一層高め、併せて会員の活力を更に引き出すことや事務局体制のスリム化により、会員の増強と学会の財政基盤に資することが組織再編の狙いとされた。

〔イノベーションセンターの目的〕

技術者の人材育成・活用、技術者資格の認証・認定や産業界の技術開発・生産活動を支援することにより、機械工学分野のイノベーションを牽引し、産官学の連携強化、外部資金の導入促進による学会事業の拡大と学会プレゼンスの向上に貢献する。

〔活動概要（センター設立から）〕

年度	実施機能・役割—実績（概略）	委員長
1999	第2世紀将来構想答申により、支部・部門制検討委員会で支部と部門制および研究開発センター構想について具体化のための検討、2002年度末までにセンター設置を提案	木内 学
2000	研究開発推進センター2003年度発足に向けての事業内容等の検討開始 （研究協力・標準部会）2001. 1：センター設立準備室を発足、規定等の検討。センター設立準備室規定、予算等の整備、センター準備室長決定：松崎氏	白鳥正樹
2001	研究開発推進センター設立準備室運営委員会：各事業部の関連諸規定の整備、学会基準の免責条項の改訂案策定 技術相談事業部：技術アドバイザーとコーディネータの選考等、公的機関の調査 標準事業部：学会基準の販売戦略・内容調査（絶版、廃止の基本方針検討） 研究開発事業部：新規テーマ発足10件、受託事業、部門との合同分科会の提案 機械の状態監視：設立準備資金を投資	石本昌三郎 白鳥正樹 鹿島光一 成合英樹
2002	研究開発推進センター設立準備室運営委員会：センター名称の検討、センターとして独立とした場合の諸条件の整備 企画委員会：センターとして会員と社会へのサービス事業の検討 技術相談事業部：技術相談10件（有料3件、無料7件）、セミナーを実施 標準事業部：既刊学会基準の内容見直し、基準の制定日と発行日を分離 機械の状態監視準備：技術者資格認証を行っている団体や業務の調査 研究開発事業部：新規分科会7件を設置、事業展開と新規テーマの創出	石本昌三郎 神本武征 白鳥正樹 鹿島光一 岩壺卓三 檜佐彰一
2003	技術開発支援センター運営委員会：センター運営委員会はセンターに関する重要案件のみ審議 企画委員会：種々の電子出版の可能性の調査 研究協力事業部会：新規分科会5件の発足、部門合同事業・委託調査事業の事業展開検討、知的財産権のあり方検討 標準事業部会：発電規格の内容審査 技術相談事業部会：技術相談21件（有料5件、無料7件、中止7件、保留2件）、各地域でのマッチング事業の調査・情報収集（交換）、委託調査活動実施 機械状態監視資格認定事業部会：訓練機関認定委員会、振動技術者資格認証委員会設置、訓練機関の資格・審査・認定、認証試験の受験方針（試験問題、審査方法）	田中正人 神本武征 檜佐彰一 渡部 修 北川正樹 岩壺卓三

38. イノベーションセンターの活動

2004	<p>技術開発支援センター運営委員会：センター各事業予算を部会長から提出 企画委員会：新規事業の企画方針 研究協力事業部会：新規分科会 7 件発足，国家プロジェクトの受託活動推進 標準事業部会：標準事業表彰（貢献賞，国際功績賞）授与，ISOの適正化調査受託，標準事業の拡大に伴い関係者から講義を受ける 技術相談事業部会：技術相談 20 件（有料 5 件，無料 7 件，中止 4 件，保留 4 件），ホームページ記事掲載，セミナー開催，技術アドバイザーの増員計画，委託調査活動 機械状態監視資格認定事業部会：2004.6 と 2004.12 の 2 回カテ I，II 認証試験実施（合格者カテ I 81 名，カテ II 498 名），米国 VI との相互協定</p>	<p>金子成彦 寺山孝男 有富正憲 渡部 修 北川正樹 岩壺卓三</p>
2005	<p>技術開発支援センター運営委員会：2006 年度からの新組織での予算編成 企画委員会：メカノプログ倶楽部の整備 研究協力事業部会：新規分科会 8 件発足，「知的財産権の取り扱い指針」をまとめた，国家プロジェクト受託の推進 標準事業部会：標準化活動活性化につき 3 つの WG を発足，学会基準の見直し確認，標準事業表彰授与，経済産業省の大臣表彰と功労者表彰に対し，候補者を推薦 技術相談事業部会：技術相談 19 件，メカノスクエア-HP の改良調査の実施，技術アドバイザーの増員 機械状態監視資格認定事業部会：訓練機関の認定（カテ I 2 社，カテ II 4 社），2005.5 と 2005.11 に認証試験実施（合格者カテ I 14 名，カテ II 329 名），東南アジア向けのこの認証制度の普及について調査と韓国への資料供与の可否</p>	<p>田中敬介 寺山孝男 有富正憲 染谷常雄 清水 翼 岩壺卓三</p>
2006	<p>産官学連携センター センター運営・企画委員会 研究協力事業委員会：新設分科会 5 件を承認（現行 13 分科会の活動を確保）. 3 件の RS 分科会での請負契約を確認 技術相談事業委員会：技術相談 20 件アドバイザー就任数は 79 名. 職業能力開発大学の講師派遣を受託 技術ロードマップ委員会：110 周年事業委員会集会小委員会の「ロードマップ策定」をこの委員会が受け皿となり，永続的に情報発信を行う組織として設置した. 2006 と 2007 年度は経産省からの受託事業「<i>アカデミックロードマップ</i>」も展開.</p>	<p>坂田信二 小林淳一 清水 翼 矢部 彰</p>
2007	<p>産官学連携センター センター運営・企画委員会 研究協力事業委員会：新設 RC 分科会 5（現行 9），RC-D 分科会 3 を承認. 2 件の RS 分科会で請負契約確認 技術相談事業委員会：技術相談事業数 16. 10 日間の機力・材力の企業新人研修実施. 関西シニア会との連携. 技術ロードマップ委員会：，創立 110 周年記念事業として 10 部門のロードマップ作成し会誌，HP，新聞，他誌で公表. 経済産業省から「<i>機械分野アカデミックロードマップ</i> 作成支援事業」を再受託.</p>	<p>坂田信二 小林淳一 岡村 宏 矢部 彰</p>
2008	<p>産官学連携センター センター運営・企画委員会 研究協力事業委員会：新設 RC 分科会 3（現行 9），RC-D 分科会 2 を承認. 2 件の RS 分科会で請負契約確認. 技術相談事業委員会：技術相談事業数 8. 10 日間の機力・材力の企業新人研修実施. 東海支部から 2 名の委員を選出し連携 技術ロードマップ委員会：，創立 110 周年記念事業で作成した 10 部門のロードマップの英訳版を HP に掲載.</p>	<p>村上俊明 佐々木信也 岡村 宏 矢部 彰</p>

38. イノベーションセンターの活動

年度	実施機能・役割－実績（概略）	委員長
2009	<p>イノベーションセンター センター運営・企画委員会</p> <p>技術者教育委員会：技術士養成講座の2年度目実施（A, B, Cの3コース試行）。産学人材育成パートナーシップ事業の開始（経産省受託）。</p> <p>人材活躍・中小企業支援事業委員会：技術相談事業数10件、累計151件。10日間の機力・材力の企業新人研修実施。新現役チャレンジ支援事業2年度目実施（中小企業基盤整備機構受託）。</p> <p>JABEE事業委員会：プログラム認定の新規審査2件、中間審査5件、継続審査14件実施。</p> <p>技術者資格事業委員会：計算力学技術者資格認定事業合格者数/受験者数…固体力学：初級=80/80, 2級=160/534, 1級=81/129, 上級=12/19, 熱流体力学：初級=23/23, 2級=130/165, 1級=34/62, 上級=7/8。機械状態監視資格認証事業合格者数/受験者数…振動：カテI=120/138, カテII=296/354, カテIII=30/58, カテIV=3/10, トライボロジー：カテI=118/132。</p> <p>研究協力事業委員会：再設置RC分科会5（継続2）、再設置RC-D分科会3（継続）を承認。2件のRS分科会で請負契約確認。</p> <p>技術ロードマップ委員会：参加部門18部門に増加。COP15（国連気候変動枠組条約締結国第15回会議）関連のFuture Climate Projectへ参加（有信会長・矢部委員長出席：コペンハーゲン）。</p>	<p>村上俊明 田口裕也</p> <p>村上俊明</p> <p>佐藤 勲 吉村 忍</p> <p>佐々木信也</p> <p>矢部 彰</p>
2010	<p>イノベーションセンター センター運営・企画委員会</p> <p>技術者教育委員会：機械系技術者の能力開発・継続教育（機械系統一CPD資格、技術士養成講座など）や萌芽的な事業の検討。産学人材育成パートナーシップ事業継続（経産省受託）。</p> <p>人材活躍・中小企業支援事業委員会：中小企業支援や教育現場などにおける会員シニア活躍の場の検討（技術相談事業含む）。新現役チャレンジ支援事業の自立化。</p> <p>JABEE事業委員会：技術者教育プログラム認定審査支援、審査員確保、関連する本会事業の推進。</p> <p>技術者資格事業委員会：計算力学技術者資格認定事業と機械状態監視資格認証事業の推進とシナジーの検討。</p> <p>研究協力事業委員会：技術開発などの研究協力事業や受託事業など産官学との連携推進（分科会の安定運営、新規RC分科会設置と外部資金獲得の推進、部門との連携など）。</p> <p>技術ロードマップ委員会：ロードマップの国内外発信、横断的検討。参加部門数の増加。新テーマ発掘。Future Climate Project（2011年9月、ロンドン）への対応。</p>	<p>村上俊明 田口裕也</p> <p>村上俊明</p> <p>荒居善雄 吉村 忍</p> <p>吉村卓也</p> <p>矢部 彰</p>
2011	<p>イノベーションセンター センター運営・企画委員会</p> <p>技術者教育委員会：機械系技術者の能力開発・継続教育（機械系統一CPD資格、技術士養成講座など）や萌芽的な事業の検討。</p> <p>人材活躍・中小企業支援事業委員会：中小企業支援や教育現場などにおける会員シニア活躍の場の検討（技術相談事業含む）。中小企業診断協会との覚書（中小企業支援の実施に係る相互連携に関する覚書）の締結。新現役チャレンジ支援事業の自立化。</p> <p>JABEE事業委員会：技術者教育プログラム認定審査支援、審査員確保、関連する本会事業の推進。</p> <p>技術者資格事業委員会：計算力学技術者資格認定事業と機械状態監視資格認証事業の推進とシナジーの検討。計算力学技術者資格認定試験 振動分野の立ち上げ。</p> <p>研究協力事業委員会：技術開発などの研究協力事業や受託事業など産官学との連携推進（分科会の安定運営、新規RC分科会設置と外部資金獲得の推進、部門との連携など）。</p> <p>技術ロードマップ委員会：ロードマップの国内外発信、横断的検討。参加部門数の増加。新テーマ発掘。Future Climate Project（2011年9月、ロンドン）への対応。</p>	<p>村上俊明 久保司郎</p> <p>村上俊明</p> <p>中別府 修 吉村 忍</p> <p>吉村卓也</p> <p>渡邊政嘉</p>

38. イノベーションセンターの活動

2012	<p>イノベーションセンター センター運営・企画委員会</p> <p>技術者教育委員会：機械系技術者の能力開発・継続教育（機械系統一 CPD 資格、技術士養成講座など）や萌芽的な事業の検討。JSME レクチャラ制度並びにエンジニア制度の検討。2012(平成 24)年度工学教育連合講演会の開催</p> <p>人材活躍・中小企業支援事業委員会：中小企業支援や教育現場などにおける会員シニア活躍の場の検討（技術相談事業含む）。シニア交流会の実施。中小企業診断協会との連携推進。特別員の出前講座アンケート回答に対する検討。</p> <p>JABEE 事業委員会：技術者教育プログラム認定審査支援、審査員確保、関連する本会事業の推進。</p> <p>技術者資格事業委員会：計算力学技術者資格認定事業と機械状態監視資格認証事業の推進とシナジーの検討。機械状態監視資格認証事業のマレーシアでの訓練・試験実施を上申。計算力学技術者資格認定試験 振動分野の立ち上げ。「機械状態監視資格認証専門委員会」と「計算力学技術者資格認定専門委員会」を事業委員会とし、技術者資格事業委員会を廃止</p> <p>研究協力事業委員会：技術開発などの研究協力事業や受託事業など産官学との連携推進（分科会の安定運営、新規 RC 分科会設置と外部資金獲得の推進、部門との連携など）。RD 分科会の設置</p> <p>技術ロードマップ委員会：ロードマップの国内外発信、横断的検討。参加部門数の増加。外部資金獲得の検討。</p>	<p>久保司郎 久保司郎</p> <p>中山良一</p> <p>中別府 修 吉村 忍</p> <p>吉村卓也 渡邊政嘉</p>
2013	<p>イノベーションセンター センター運営・企画委員会</p> <p>技術者教育委員会：機械系技術者の能力開発・継続教育（機械系統一 CPD 資格、技術士養成講座など）や萌芽的な事業の検討。JSME レクチャラ制度並びにエンジニア制度の検討。</p> <p>人材活躍・中小企業支援事業委員会：中小企業支援や教育現場などにおける会員シニア活躍の場の検討（技術相談事業含む）。シニア交流会の実施。シニア会設立の検討。中小企業診断協会との連携推進。特別員の出前講座アンケート回答に対する検討。</p> <p>JABEE 事業委員会：技術者教育プログラム認定審査支援、審査員確保、関連する本会事業の推進。</p> <p>機械状態監視資格認証事業委員会：事業の推進とシナジーの検討。マレーシアでの訓練・試験実施。トライボロジー分野 CATⅢの実施検討。ISO17024 への対応検討</p> <p>計算力学技術者資格認定事業委員会：事業の推進とシナジーの検討。英国 NAFEMS の上級資格との国際相互認証を検討。</p> <p>研究協力事業委員会：技術開発などの研究協力事業や受託事業など産官学との連携推進（分科会の安定運営、新規 RC 分科会設置と外部資金獲得の推進、技術ロードマップ委員会や部門との連携など）。</p> <p>技術ロードマップ委員会：ロードマップの国内外発信、横断的検討。参加部門数の増加。外部資金獲得の検討。</p>	<p>渡邊政嘉 森下 信</p> <p>中山良一</p> <p>荒居善雄 松田博行</p> <p>長嶋利夫</p> <p>吉村卓也</p> <p>平澤茂樹</p>
2014	<p>イノベーションセンター センター運営・企画委員会</p> <p>技術者教育委員会：機械系技術者の能力開発・継続教育（機械系統一 CPD 資格、技術士受験セミナーなど）や萌芽的な事業、JSME エンジニア制度の検討等を行い、CPD ポイント登録制度の廃止を提案した。</p> <p>人材活躍・中小企業支援事業委員会：中小企業支援や教育現場などにおける会員シニア活躍の場の検討（技術相談事業含む）。各支部のシニア会設立の検討並びにシニア交流会の実施。中小企業診断協会との連携推進。特別員の出前講座アンケートに対する検討。</p> <p>JABEE 事業委員会：技術者教育プログラム認定審査支援、審査員確保、関連する本会事業の推進。</p> <p>機械状態監視資格認証事業委員会：事業の推進とシナジーの検討。マレーシアでの訓練・試験実施。トライボロジー分野 CATⅢを実施。ISO17024 への対応検討</p> <p>計算力学技術者資格認定事業委員会：事業の推進とシナジーの検討。英国 NAFEMS の PSE との国際相互認証を実施する。</p> <p>研究協力事業委員会：技術開発などの研究協力事業や受託事業など産官学との連携推進（分科会の安定運営、新規 RC 分科会設置と外部資金獲得の推進、技術ロードマップ委員会や部門との連携など）。</p>	<p>渡邊政嘉 森下 信</p> <p>中山良一</p> <p>小野直樹 松田博行</p> <p>長嶋利夫</p> <p>辻内伸好</p>

38. イノベーションセンターの活動

	技術ロードマップ委員会：部門ロードマップの新規作成または既存作成分の更新，ロードマップの国内外発信，横断的検討。既存作成分の書籍化の検討。参加部門数の増加。外部資金獲得の検討。第5期科学技術基本計画作成に向けての「将来社会を支える科学技術に関する調査協力」作業	平澤茂樹
2015	<p>イノベーションセンター センター運営・企画委員会</p> <p>技術者教育委員会：機械系技術者の能力開発・継続教育（技術士受験セミナーなど）や萌芽的な事業の検討。PBL（プロジェクト・ベースド・ラーニング），アクティブラーニング等の調査，検討。</p> <p>人材活躍・中小企業支援事業委員会：中小企業支援や教育現場などにおける会員シニア活躍の場の検討（技術相談事業含む）。各支部のシニア会設立の検討並びにシニア交流会の実施。中小企業診断協会との連携推進。特別員の出前講座アンケートに対する検討。</p> <p>JABEE 事業委員会：技術者教育プログラム認定審査支援，審査員確保，関連する本会事業の推進。</p> <p>機械状態監視資格認証事業委員会：事業の推進とシナジーの検討。マレーシアでの訓練・試験実施。トライボロジー分野 CATⅢを実施。ISO17024 への対応検討</p> <p>計算力学技術者資格認定事業委員会：事業の推進とシナジーの検討。英国 NAFEMS の PSE との国際相互認証を実施。</p> <p>研究協力事業委員会：技術開発などの研究協力事業や受託事業など産官学との連携推進（分科会の安定運営，新規 RC 分科会設置と外部資金獲得の推進，技術ロードマップ委員会や部門との連携など）。</p> <p>技術ロードマップ委員会：部門ロードマップの新規作成または既存作成分の更新，ロードマップの国内外発信，横断的検討。既存作成分の書籍化の検討。参加部門数の増加。外部資金獲得の検討。第5期科学技術基本計画作成に向けての「将来社会を支える科学技術に関する調査協力」作業。2016年5月会誌特集記事掲載準備。</p>	<p>渡邊政嘉 森下 信</p> <p>中山良一</p> <p>小野直樹 藤原浩幸</p> <p>長嶋利夫</p> <p>辻内伸好</p> <p>平澤茂樹</p>
2016	<p>イノベーションセンター センター運営・企画委員会：年次大会でのガバメントセッションの提案・実施。</p> <p>技術者教育委員会：機械系技術者の能力開発・継続教育（技術士受験セミナーなど）や萌芽的な事業の検討。PBL（プロジェクト・ベースド・ラーニング），アクティブラーニング等の調査，検討。</p> <p>人材活躍・中小企業支援事業委員会：中小企業支援や教育現場などにおける会員シニア活躍の場の検討（技術相談事業含む）。全支部に設立されたシニア会相互の情報・意見交換。中小企業診断協会，中部産業連盟，中小企業庁 埼玉県よろず支援拠点等との連携推進</p> <p>JABEE 事業委員会：技術者教育プログラム認定審査支援，審査員確保，関連する本会事業の推進。</p> <p>機械状態監視資格認証事業委員会：事業の推進とシナジーの検討。マレーシアでの訓練・試験実施。トライボロジー分野 CATⅢを実施。一般社団法人日本トライボロジー学会との「機械状態監視診断技術者（トライボロジー）認証制度運営に関する協定」に関する，収支折半，認証証の会長名併記に係る部分の削除等の改定。</p> <p>計算力学技術者資格認定事業委員会：事業の推進とシナジーの検討。英国 NAFEMS の PSE との国際相互認証を実施。</p> <p>研究協力事業委員会：技術開発などの研究協力事業や受託事業など産官学との連携推進（分科会の安定運営，新規 RC 分科会設置と外部資金獲得の推進，技術ロードマップ委員会や部門との連携など）。</p> <p>技術ロードマップ委員会：部門ロードマップの新規作成または既存作成分の更新，機械工学全体としての技術ロードマップ作成の検討。2050年の社会像を描くことを目的としたワークショップの開催。ロードマップの国内外発信，横断的検討。2016年5月会誌特集記事掲載。</p>	<p>渡邊政嘉 森下 信</p> <p>木原重光</p> <p>小野直樹 藤原浩幸</p> <p>長嶋利夫</p> <p>宇津野秀夫</p> <p>大富浩一</p>